

あなたの地域の活動も「立ち上がる農山漁村」に応募してみませんか

■ 「立ち上がる農山漁村」って何？

農山漁村では過疎化や高齢化で活力が低下している地域もありますが、その一方で農林水産業を核として自分たちの地域の力で活発な取り組みを行い、地域を元気にしている人たちがいます。そういった事例を首相官邸で開催される有識者会議で「立ち上がる農山漁村」として選定し、「地域自ら考え行動する」意欲あふれた取り組みを推進するために全国に発信・奨励しています。

もっとたくさん出会いたい。農山漁村のこんな取り組み。

- 農村振興に熱い思いを持ち、独自の経営感覚で推進している事業。
- 地域資源に注目し、大きく活かしている活動。
- 今までの常識にとられないユニークな戦略。
- 地域の経済を元気にし、雇用の創造などに貢献している取り組み。

■ 「立ち上がる農山漁村」は有識者会議で選ばれています

農林水産業や農林水産物、農山漁村に造詣が深く、それに関係する活動をされている各界の有識者によって構成される有識者会議で「立ち上がる農山漁村」は選ばれています。

この会議では「立ち上がる農山漁村」の成功事例の分析なども行い、今後の地域活性化に役立てていきます。



平成16年6月14日(首相官邸大会議室)
第一回「立ち上がる農山漁村」有識者会議が開催されました。

有識者会議委員、細田内閣官房長官、
亀井農林水産大臣、金子特命担当大臣が
出席。立ち上がる農山漁村30事例(21
ページ)が選定されました。

平成17年3月17日(首相官邸大会議室)
第二回「立ち上がる農山漁村」有識者会
議では成功要因等について話し合われま
した。

有識者会議委員、小泉総理、細田官房
長官、島村農林水産大臣が出席。「立ち
上がる農山漁村」選定30事例の成功要因を分析し、どのように政府全
体の施策や民間の活動に活用するか、他の地域へ応用していくか等
について話し合われました。



有識者会議委員メンバー

- アン・マクドナルド 委員
エッセイスト
- 今村 司 委員 日本テレビ営業局副部長
- 小泉 武夫 委員 東京農業大学教授
- 白石 真澄 委員 東洋大学助教授
- 長岡 杏子 委員 TBSアナウンサー
- 永島 敏行 委員 俳優
- 丹羽 宇一郎 委員
伊藤忠商事代表取締役会長
- 林 良博 委員 東京大学教授
- 三國 清三 委員
オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ

■ 「立ち上がる農山漁村」への取り組み

● 平成16年6月

福本農林水産政務官が愛媛県内子町を訪問しま
した。農家が町内産の農産物や加工品を効率的に
出荷販売するため携帯電話を利用した斬新な販売
管理システムを視察しました。

● 平成16年7月

構原町森林組合が取り組んでいる活動(FSC森
林認証と風力発電による山村づくり)等の活動を
亀井農林水産大臣が視察しました。地域資源を活
かし力強い地域づくりに取り組む農業者や林業者と
意見交換を行いました。



平成16年8月

林良博座長、今村司委員、アン・マクドナルド委員、長岡杏子委員が北海道中札内村の(有)中札内村レディースファームと北海道小清水町の(有)シナジーこしみずを訪れました。

(有)中札内村レディースファームは、女性を中心としたスタッフで通常以上に徹底した使用管理・衛生管理で日本で唯一、加熱殺菌を行わない無殺菌牛乳(「想いやり牛乳」)を製造・販売し、地域の雇用も創出しています。

(有)シナジーこしみずは、町の地域資源である「ゆり」を観光資源として活用、「ゆりの郷こしみず リリーパーク」を開設、さらにゆり栽培農家自ら110品種、700万本の植栽を行ない、球根・切り花の栽培等を行なっています。7月から9月の開園期間中は全国から約7万人が訪れ、地域の活性化に貢献しています。



左：(有)中札内村
レディースファーム



右：シナジーこしみず

平成16年9月



小泉武夫委員と白石真澄委員が富山県立山町を訪問。農事組合法人食彩工房たてやまの活動を視察しました。

農事組合法人食彩工房たてやまは平成11年の設立以後、「手づくり、ほんもの、無添加」と「純粋で安全」な加工品づくりと販売を進めてきました。その中でも「たてやま権現かきもち」は立山の自然の風で乾燥させた手づくりのかき餅で富山県ふるさと認証食品としても認証を受けています。他にものし餅、大福餅、赤飯、漬物等の商品の販売。地元小学校の社会体験学習の受け入れも行ない、食育の普及にも取り組んでいます。

平成16年11月

三國清三委員が岐阜県郡上市の(株)明宝レディースと愛知県安城市の水土里ネット明治用水を訪問。活発な意見交換を行いました。

(株)明宝レディースは、農家の女性たちが地元産の完熟トマトを使い、添加物を一切使わない手作りトマトケチャップを製造・販売。また地元の農産物を提供する「おかみさん」の店を開店するなど経営の多角化を進めています。



(株)明宝レディース



水土里ネット明治用水

水土里ネット明治用水は、農業用施設を活用し、地域の環境保全グループ等と連携して子供達の農業体験などの実施や農業用水の水質改善のための森林整備活動にも取り組んでいます。

平成17年2月

永島敏行委員が鹿児島県串良町の柳谷自治公民館を視察しました。



柳谷自治公民館は、地元高校生の力と遊休農地を活用したから芋栽培、集落民の労働奉仕による生ごみや畜産糞尿の醗酵処理用土着菌作りなどの活動を通じて集落のつながりを再生し、家畜糞尿の悪臭抑制など、地域の問題を解決してきています。

平成17年3月



永島敏行委員が実行委員長を務める青空市場が中央区築地で開催されました。

青空市場は「生産者のチャレンジショップ」として生産者が直接、大都市の消費者と触れあひながら販売・交流することを目的に開催され今回で4回目となります。

会場では各地の農山漁村の生産者が、また「立ち上がる農山漁村」からは北海道帯広市の川西農協、岐阜県郡上市の名宝レディース、京都府美山町振興会のほか多数が出展し、消費者と生産者との交流が行なわれました。

平成17年1月13日

首相官邸大会議室にて「農業・農山漁村の明日を語る会」が開催。小泉内閣総理大臣が出席し、「立ち上がる農山漁村」からは北海道黒松内町、滋賀県愛東町、島根県益田市西いわみ農業協同組合、愛媛県内子町の(株)内子フレッシュパークからりが参加し意見交換を行いました。



■ 「立ち上がる農山漁村」の広報活動

「立ち上がる農山漁村」の活動が各種シンポジウムで発表されます。

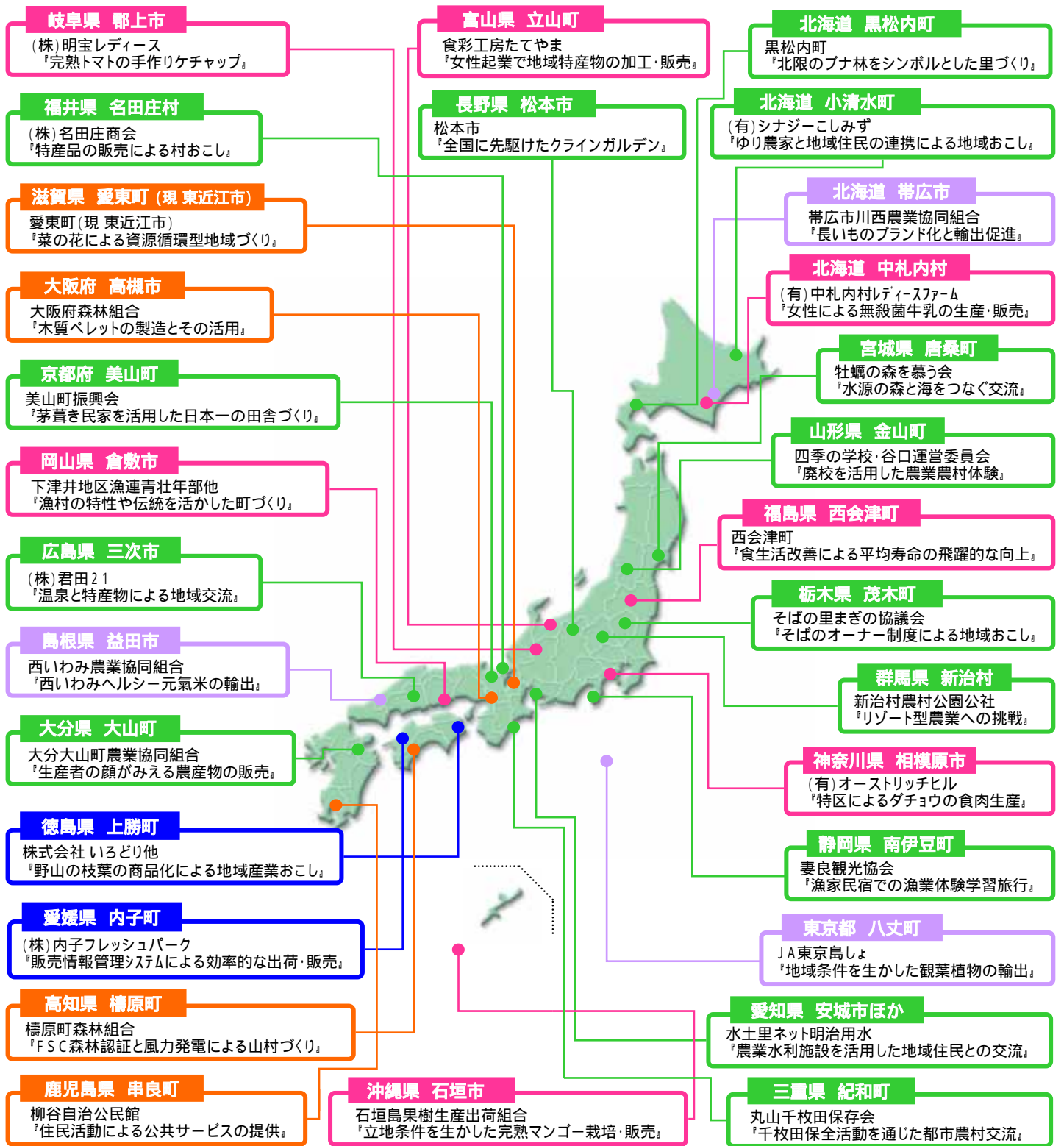
東京大学弥生講堂(平成16年9月11日)

農林水産省と(財)農学会の主催により「女性による地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催。女性を中心にして成功した事例として「食工房たてやま」など「立ち上がる農山漁村」の4つの活動が発表されています。

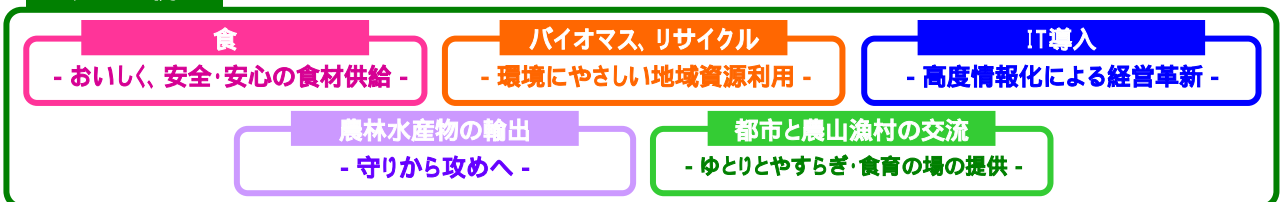
名古屋市天白区文化小劇場(平成16年11月18日)

東海農政局の主催で『食』を活用した農山漁村の活性化をテーマに「立ち上がる農山漁村」のシンポジウム(イン名古屋)が開催されました。有識者会議委員である三國清三氏による基調講演の他、パネルディスカッションでは「立ち上がる農山漁村」に選定された「明宝レディース」の本川代表や「そばの里まぎの協議会」の石川代表が参加しました。

「立ち上がる農山漁村」選定事例



凡 例



その活動がホームページに掲載され、マスメディアでも紹介されています。さらに新しいビジネスパートナーとの出会いや販路の拡大など新展開も考えられます。

「立ち上がる農山漁村」に選定されると当ホームページにその活動が掲載され、全世界の人々がその活動を知ることができます。また有識者の視察やシンポジウム等が新聞等により報道されたり、政府広報番組「新ニッポン探検隊!」「グッドモーニングジャパン」や、政府広報誌「Cabiネット」等のマスメディアで「立ち上がる農山漁村」に選定された取り組みも数多く紹介されています。そのことによって新しいビジネスパートナーとの出会いや販路の拡大など新展開の可能性もあります。

■ あなたの地域も「立ち上がる農山漁村」に応募してみませんか

2005年も「立ち上がる農山漁村」の事例を募集します。

現在、地域を今より元気にするために農林水産業をベースにした新しい取り組み、成功例を私たちにご紹介ください。募集要項については、下記窓口にて配付しています。(締め切り日：平成17年7月29日(金))

「立ち上がる農山漁村」募集要項配布窓口一覧

ブロック	担当都道府県	募集要項の配布窓口
北海道	北海道	北海道 農政部 農村設計課 農村活性化グループ 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 (電話)011-231-4111 (FAX)011-232-0027
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	東北農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1仙台合同庁舎 (電話)022-261-6734 (FAX)022-715-8217
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡	関東農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 (電話)048-740-0036 (FAX)048-740-0082
北陸	新潟、富山、石川、福井	北陸農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒920-8566 石川県金沢市広坂2-2-60金沢広坂合同庁舎 (電話)076-232-4531 (FAX)076-263-0256
東海	愛知、岐阜、三重	東海農政局 農村計画部 農村振興課 農村資源利活用係 〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2 (電話)052-223-4630 (FAX)052-220-1681
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	近畿農政局 農村計画部 農村振興課 農村資源利活用係 〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル子風呂町 京都農林水産総合庁舎 (電話)075-414-9050 (FAX)075-451-3965
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知	中国四国農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒700-8532 岡山県岡山市下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎 (電話)086-224-9416 (FAX)086-227-6659
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	九州農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒860-8527 熊本県熊本市二の丸1-2 熊本合同庁舎 (電話)096-353-3561 (FAX)096-359-7321
沖縄	沖縄	沖縄総合事務局 農林水産部 土地改良課 地域資源係 〒900-8530 那覇市前島2-21-7 カサセン沖縄ビル (電話)098-866-0095 (FAX)098-864-2624

立ち上がる農山漁村の取り組みは、ホームページ (<http://www.maff.go.jp/tatiagaru/newpage9.htm>)にて紹介しています。



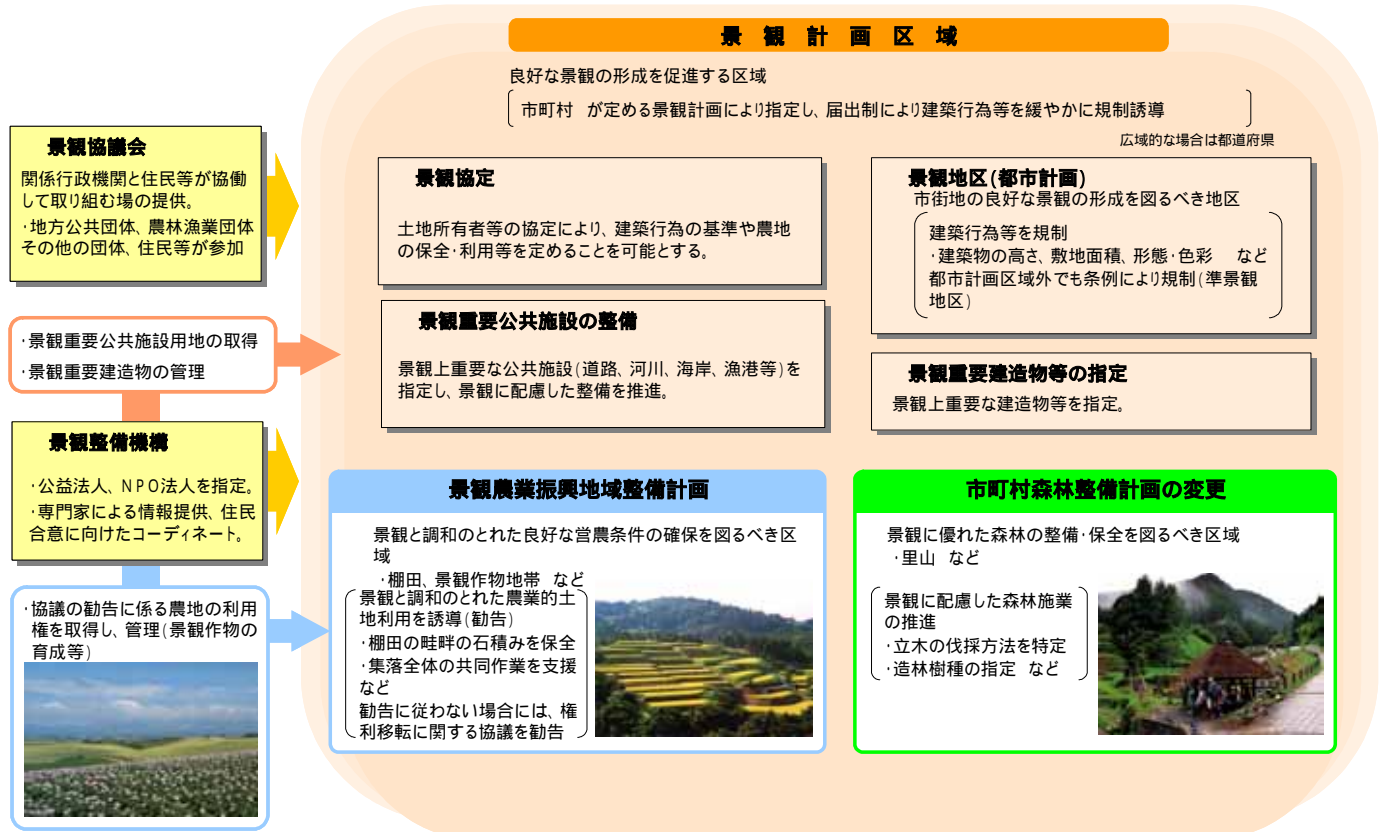
美しいふるさとづくりへ向けて ～ 景観農業振興地域整備計画を策定しませんか～

近年、社会の成熟化に伴い国民の価値観も経済的な充実から心の豊かさの向上へと変化し、美しい街並みや自然豊かな農村景観が求められています。

平成16年6月、国土交通省・農林水産省・環境省の共管で制定された「**景観法**」は、都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進するため、良好な景観の形成に関する基本理念や国等の責務を定めるとともに、**景観計画**を策定し、景観計画区域における良好な景観の形成のための規制や、景観整備機構による支援等所要の措置を講ずる我が国で初めての景観についての総合的な法律です。

具体的には、景観行政団体（都道府県、指定都市等又は都道府県知事と協議して景観行政をつかさどる市町村）は、良好な景観を保全・形成する必要があると認められる土地の区域について、**景観計画**を定めることができるとされ、**景観計画**においては、景観計画の区域 良好な景観の形成に関する方針 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針 等を定めるとされています（下図参照）。なお、**景観農業振興地域整備計画**を策定する場合は、「景観農業振興地域整備計画に関する基本的な事項」を定めておく必要があります。

景観法の概要



- 美しい農山村づくりにより地域振興を図りたい
- 耕作放棄地を解消したい
- 景観と調和のとれた農業生産基盤整備を行いたい
- 地域の歴史文化を形成する土地改良施設を保全したい
- 地域が有する固有の文化を残したい
- 集落景観の保全に努めたい

都市との交流による
棚田の保全
(三重県紀和町)



など、地域のさまざまなニーズに対して、農林水産省では、[景観農業振興地域整備計画](#)の策定を通じて、美しい農山漁村づくりを支援します。

詳細については、各地方農政局農村計画部農村振興課、または農林水産省農村振興局農村政策課までご連絡下さい。

事務局からのお知らせ

● お詫びと訂正

季刊「新往来」第16号(平成17年3月31日)のp13「太秋柿(たいしゅうかき)アイスクリーム」のホームページアドレスに誤りがありました。正しくは、<http://www.h7.dion.ne.jp/~fukuma/>です。お詫びして訂正いたします。

● 皆様からの情報提供をお待ちしております

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

なお、次号(第18号)につきましては、平成17年9月中旬の発行を予定しております。7月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに記入様式に必要事項をご記入の上、各都道府県又は下記の編集・発行先までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せて添付して下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行先までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

● 編集後記

景観法についての特集はいかがでしたでしょうか。

今年のゴールデンウィークは新幹線に2時間立ちっぱなしの帰省でしたが、そんな疲れも蒼々とした山々と、水を湛えたばかりの田んぼに囲まれた中での食事で吹き飛びました。見慣れた風景ですが、新鮮に、また懐かしく映りました。



編集・発行

農林水産省 農村振興局 農村政策課 (担当:矢野)

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-8111(内線4619)

FAX:03 3595-6340



- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。
農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>) 農村 都市農村交流の総合案内(季刊 新往来)
(<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)